



一障がい者グループホーム

グリーンハート南市岡

「住み慣れたまちで、これからも暮らしていきたい」障がいのある方やご家族のそんな素朴な願いの実現のために、グループホームの事業を始めました。3月7日・8日と見学会が開催され、障がい者施設の方・役所関係・南市岡地活協関係団体のメンバーなど、80名以上の方が来られました。

NPO法人南市岡地域活動協議会

グループホーム開設にあたり「講演会」

2/22日(金)

南市岡会館2階

演題：「障がい者がグループホームで自分らしい暮らしをするために」
講師：大阪府立大学 准教授 三田 優子 先生

- ・障がいは、特別なものではない。(日本人の約13人に1人に障害がある)
- ・障がいがあっても、いろいろなことにチャレンジができるし、そのために **変わるべきなのは、社会環境の方である。**
- ・あなたが自分の「住まい」「家」に求めるものが、障がい者にとっても大切なものに違いないのでは(三田優子先生の講演資料の抜粋)



一南市岡子ども会

フレンドリーリーグ優勝!

7月から始まった、磯路・三先・弁天・南市岡・市岡の各チーム3戦総当たりのリーグ戦で、2月17日に残り2試合を2連勝し、南市岡子ども会が8勝2分になり勝ち点26点で優勝しました!!



「地域かるた」「ふるさと南市岡」贈呈式

南市岡地域のことを知ってね!

3月4日の児童朝会で、改訂された「南市岡地域かるた」の贈呈式がありました。新しく南市岡3丁目が校区になったこと・ストックが無くなったことで改訂版が作成されました。新しくなった6枚の絵札や字札は、子どもたちによって作られたそうです。



また、「ふるさと南市岡」の冊子も新しく生まれ変わりました。今までは6年生の卒業記念として配られていましたが、これからは3年生や4年生の授業で使われる予定です。南市岡の地域愛がいっぱい詰まったかるたや冊子で遊んだりお勉強したりして、南市岡のことをもっともって知って大好きになってください。

はぐくみネットコーディネーター 宮崎 節子

一はぐくみ文庫

本棚を新しく購入しました。今回も管理作業員の藤崎さんにお世話になり、本棚が倒れてこないように固定していただきました。



31年度報告

NPO法人南市岡地活協より

港区広報板ポスター掲示(5年連続)及び広報みなと配布(南市岡地区・池島地区)の業務を行うことになりました。(契約で得た収益は地域の活動資金の原資となります)

地域食堂より「孤食をなくす」という当初の目的の達成やボランティアの減少により休止します。

地域運動会の開催 5月19日(第3日曜)
南市岡小学校にて

子育てサロン (スマイル広場)

4月4日(第1木曜)
10時30分~12時
場所: 小学校多目的室
内容: リズムあそび

ふれあい朝市

4月21日
(第3日曜)
9時~11時
場所: 南市岡公園
・会館

4月のお知らせ

ふれあい喫茶(たんぽぽ)

4月20日
(第3土曜)
13時30分~15時30分
南市岡小学校多目的室
担当: ネットワーク委員会

映画サロン

4月27日
(第4土曜)
18時30分~
場所: 地域サロン
(マインズ)

古紙

・アルミ等

回収日

4月7日
(第1日曜)
雨天時4月14日
(第2日曜)

3月売上

¥21,795.-

平成30年度 古紙回収記録

※単位-上段(kg) 下段(円)

月次	H30/4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31/1	2	3	集計
古紙累計	4,290	4,700	3,840	3,700	4,510	3,210	6,670	3,300	3,340	3,320	3,790	2,480	47,150 kg
	24,180	26,845	21,690	21,280	25,995	18,585	40,670	20,930	21,340	20,870	20,780	13,315	276,480 円
古布	130	320	150	20	40	110	100	50	100	40	40	10	1,110 kg
	260	640	300	40	80	220	200	100	200	80	80	20	2,220 円
アルミ缶	106	180	120	124	126	137	163	85	100	128	143	94	1,506 kg
	11,130	18,900	12,600	13,640	13,230	13,700	16,300	8,500	10,000	12,800	12,870	8,460	152,130 円
売上金額	35,570	46,385	34,590	34,960	39,305	32,505	57,170	29,530	31,540	33,750	33,730	21,795	430,830 円

ご協力ありがとうございました。売上金は地域運動会にて皆さんに還元されます。 ※古紙累計=新聞紙+段ボール+雑誌等



南市岡かわらばん

第169号
平成31年3月21日発行
はぐくみネット事務局
大阪市立南市岡小学校内
TEL06-6582-0390

—はぐくみ通信—

小学校玄関掲示（3月）

～さわやかな風のように～ Vol.30

南市岡小学校 校長 尾形 聡

一年は早いもので玄関の枝垂れ梅が甘い香りを運んでくれています。この紙面がお手元に届くのは、ちょうど卒業式前日辺りでしょうか。今年度も無事に卒業式を迎えられることに、心より感謝申し上げます。

さて、今月は学校図書館について書きたいと思います。大阪市では学力向上につながる施策の一つとして、平成27年度から「学校図書館活用推進事業」が始まり、学校図書館補助員(司書)の方が週1回全小中学校に配置されています。(府内のある市では20年前から全小中学校に司書が常勤しています。)週に1回でも学校現場にとっては非常にありがたいことです。とりわけ本校に来ていただいている司書の先生は、図書館運営や蔵書管理だけでなく、児童図書について造詣が深く、蔵書の電子管理がスムーズに行えたのも助言や支援のおかげでした。授業中は、図書の貸し出しはもちろん読み聞かせや図書の紹介など、子どもたちがとても楽しみにしています。長期休業中は、傷んだ図書の修理や蔵書確認などの事務作業をし、教員の負担軽減に大いに貢献してくださっています。

ところが、先日大阪市から「31年度の学校図書館補助員の配置は年間35週とする」旨の通知文書がメールで送られてきました。つまり、「長期休業中を含まない年35回の配置」ということです。これは、単に回数が減るというだけでなく、雇用形態が大きく変わり年間通しての雇用ではなく年間〇回という契約になるということになったのです。学校図書館補助員の方々も生活があるわけですから、こんな不安定で安価な仕事は続けられないと辞められる方も多いのではないかと心配しています。折しも31年度市予算案が示され、「子育て・教育」関連に歳出の22.9%約4200億円が計上されましたが、残念ながらその中に学校図書館補助員の方の年間契約分の人件費は含まれていないということです。

人件費削減ではなく、司書の先生が常勤している学校図書館を一日でも早く実現していただけるよう、切にお願いします。(昨年度からはぐくみネットの方に週に1回図書館を開館していただいています。来年度はさらに開館できるよう地域諸団体の方々にも声を掛けていただいています。)



市岡東NOW 「平和学習」のとりくみ 44期生

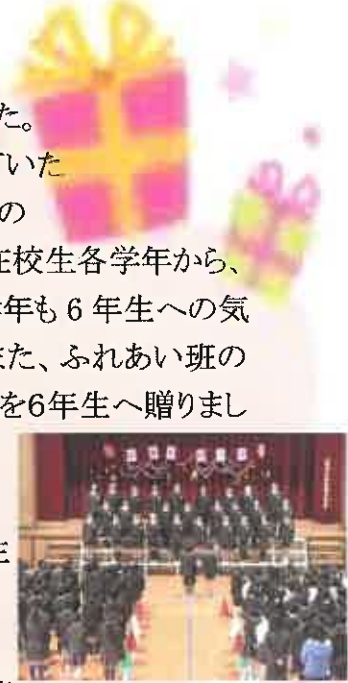
入学したのがついこの間のような44期生も卒業の時を迎えました。44期生は3年間平和学習に取り組んできました。1年生の時には、広島で被爆しながらも懸命に生きた禎子さんのことを学習し、文化発表会では折り鶴で「原爆の子の像」をモチーフにした貼り絵を作りました。戦争で亡くなられた方のお墓が先が尖っていることに着目し、たくさんのお墓を調査することで、戦争のことを学習しました。3年生の時には、沖縄に修学旅行に行き、現地で資料館やガマなどを見学し、それを元にして文化発表会で沖縄に行った人でなければ表現できない素晴らしい劇を発表しました。中学生の間に学習したことが、卒業した後、自分で考えて、行動する糧になってくれれば幸いです。二度とあの惨劇を起こさないという気持ちはみんな同じだと言うことを共感できた44期生たちでした。 3年教職員一同



◎南市岡小学校
4月5日(金) 午前10時開式
小学校講堂にて(控え室;東館1階会議室)
◎市岡東中学校
4月3日(水) 午前10時開式
中学校講堂にて(控え室;本館3階多目的室)

卒業を祝う会 3/7

3月7日木曜日に「卒業を祝う会」を行いました。これまで南市岡小学校の中心となって活躍していた6年生の卒業の日が近づいてきました。6年生の卒業の門出を祝い、感謝の気持ちを込めて、在校生各学年から、お祝いの言葉と歌をプレゼントしました。どの学年も6年生への気持ちが表れた発表で、素晴らしかったです。また、ふれあい班のみんなで協力して作った寄せ書きのプレゼントを6年生へ贈りました。とても喜んでいました。



6年生からは、手作りのぞうきんのプレゼントと素敵な合奏と合唱がありました。さすが6年生と思える演奏で、感動しました。心に残る「卒業を祝う会」でした。
生活指導部 児童会活動担当
内海 真弥

元気アップ便り

大阪市立市岡東中学校
元気アップコーディネーター
千葉 清二

3月6日は暦では二十四節気の「啓蟄(けいちつ)」といって、冬籠りしていた虫たちも、そろそろ動き始めるという時期です。昔の人はそのような虫の動きまで、心を配っていたのです。今年はインフルエンザがはやりましたが、全体的には穏やかな年でした。私は寒がりではありますが、まだまだ寒いこの時期に、凛として花を咲かせる梅の花が好きです。今は「花」といえば、「桜」であり、日本のことを外国へ紹介するときでも「富士」や「桜」がデザインされることが多いですね。奈良時代などの昔は中国の影響でしょうが、日本でも「梅」が好まれたようです。たとえば、万葉集でも「桜」よりも「梅」を詠んだ歌が多いです。(調べた人によると梅は約120首、桜は約40首で最も多いのは萩で約140首だそうです。)学問の神様とされる菅原道真も梅を愛し、また、古今集の中心的編者の紀貫之も百人一首の中の「人はいさ心も知らず ふるさとは花ぞ昔の香ににほひける」と詠まれたこの花も梅とされています。

卒業が近づいたこの時期、3年生の皆さんはどんな花が好きですか。もちろん、梅でも桜でもいいのですが、みなさんの「心の中」で立派に咲かせてほしいと思います。そして、卒業後はどんな進路に進んでも、中学校で学んだことを土台にして、ぜひいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。若いときの「失敗」は失敗ではありません。むしろ次の成功への大きな糧となります。次の飛躍への「よき経験」となるでしょう。みなさんもこれからの人生において、いろいろなことに挑戦されることと思いますが、どうか失敗を恐れず、むしろ失敗を「いい経験をした」とプラス思考で身に付けられるような、意義のある人生を送ってください。(元気アップ通信3月号より)

南市岡小学校
保健室前の掲示



すき屋根ん通信
かわらばん発行日
変更のお知らせ

★従来第3木曜日に発行していましたが、来年度より、毎月1日に発行日を変更いたします。これにともない4月号は休刊とし、次号は5月1日発行となります。ご了承ください。



はぐくみネット